



3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

平成 28 年 7 月 12 日

平成 28 年度第 2 回「海外物流戦略ワーキングチーム」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (会長: 工藤泰三) は、平成 28 年 7 月 8 日 (金)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する平成 28 年度第二回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。今回は、国土交通省の町田国際物流課長を始めとする幹部他、会員企業から総勢 30 人が参加した。

会議では、まず、日本貿易振興機構 (ジェトロ) の海外調査部アジア大洋州課より、「インドネシアの日系進出企業動向とビジネス環境」と題し、インドネシアの現状につき、説明があった。

その中で、経済・政治の安定、人口・国土・資源等で、大きな規模を誇る同国は、市場の将来性や成長性の点から、日系企業の関心は、依然として高いが、一次製品の輸出規制や、道路・港湾等のインフラ整備の遅れ等、諸問題も指摘された。

今後、物流連では、今秋に予定されている、インドネシア・フィリピンへの海外現地視察を見据え、ワーキングチームにおける両国に関する検討を活発化させてゆく事としている。

次に、メンバーである、日本通運株式会社より、現在、注目を集めているハラール物流について、ハラールの基礎知識や、ハラール物流に取り組むにあたっての基本的なエレメントについて説明が行われた。

その後、海外物流戦略ワーキングチームとして取り組んできた、「日本の物流の強みを確認し、その普及を図るための調査」の報告書 (案) が示され、了承された。(8 月のリリース予定)。

本ワーキングチームの活動は、今年度も、物流連の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めるとし、次回は、8 月下旬の開催を予定している。

以上
事務局 小島

会議全景



挨拶する町田国際物流課長（国土交通省）

